

今、私たちが住む地球には、いろいろな環境問題が起きています。

環境を学ぼう

環境問題について調べて、自分にできることを実行しましょう。

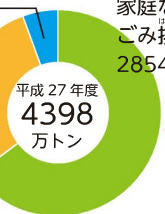
「MOTTAINAI」で、ごみを減らそう

日本の年間ごみ総排出量は4398万トン

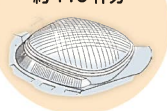
地域などで自主的に回収された資源ごみの量
239万トン

家庭などからのごみ排出量
2854万トン

会社や工場などからのごみ排出量
1305万トン

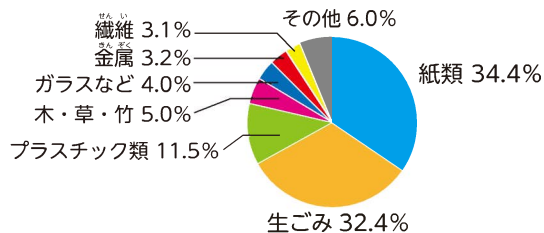


東京ドーム
約118杯分



家庭から出るごみの中身は何？

家庭から出るごみの重さの中で一番多いのは、紙類と生ごみです。生ごみには、調理の残りくずのほか、賞味期限が切れた食品など、ほとんど手をつけていない食品もふくまれます。



ごみを減らすための3R

Reduce (ごみ削減)

つめかえのできる製品を選んだりマイバッグで買い物をしたりするなど、使う資源やごみの量を減らすこと



Reuse (再利用)

壊れた物を修理して使ったり、ものを簡単に捨てずに繰り返し使ったりすること



Recycle (再資源化)

古新聞やペットボトルなど使い終わったものを資源として再び利用すること



都の取組

パソコンや携帯電話などの家電製品には貴金属などが含まれています。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて不要になった小型家電製品から金・銀・銅を取り出してリサイクルメダル(5000個)をつくる取組を進めています。



金 10kg + 銀 1233kg + 銅 736kg
= ×2000万台

自分にできる取組を考えよう



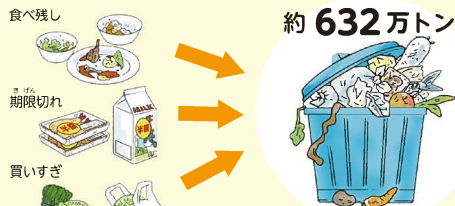
多くの食品も自然にある資源から作られています

多くの食品は、自然にある資源から作られており、魚や果実も自然から得ているめぐみです。まだ食べられるのにごみとして捨てられる食品のことを「食品ロス」と言います。食べられるのにごみになってしまうのは、とてももったいないことです。

- 小麦 → パン・うどんなど
- 大豆 → 豆腐・醤油・味噌など

日本の食品ロス

1年間の日本の食品ロス
約632万トン



国連が1年間で世界全体に援助している食糧の量
約320万トン



日本では、1人1日お茶碗約1杯分(約136g)の食べ物が捨てられています

「MOTTAINAI」とは

環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性、ワンガリ・マータイさんが、2005年の来日の際に感銘を受けたのが「もったいない」という日本語でした。「もったいない」は Reduce (ごみ削減) Reuse (再利用) Recycle (再資源化) という環境活動の3Rをたった一言で表わしています。マータイさんはこの美しい日本語を環境を守る世界で共通する言葉「MOTTAINAI」として広めることを提唱しました。